

令和6年度 市政運営方針

特に重点を置いて取り組む施策と、主な取り組みについて、「前進」「創造」「挑戦」のキーワードに沿ってお知らせします。
問い合わせ＝企画課企画戦略担当（☎内線 524）



桐生市長 荒木 恵司

重点施策

- ▼「桐生市移住支援フロントむすびすむ桐生」の機能強化
- ▼「さりゅう暮らし応援事業（住宅取得応援成など）」の継続
- ▼「移住支援補助金」の拡充
- ▼「書かない窓口」の導入などのDX推進
- ▼デジタル人材育成に向けた「Sukurun KIRYU」の開設
- ▼電子地域通貨「桐ペイ」の活用推進
- ▼「球都桐生プロジェクト」の推進
- ▼防犯灯電気料金の市全額負担
- ▼自治組織を支援する「地域担当職員制度」の導入
- ▼木造住宅の耐震化促進

「前進」

若者がより一層夢を持てる
活気あふれるまちづくりへの

- ▼桐生版スマートフォンビジネスサタデーの推進
- ▼新店舗開設補助の対象拡大
- ▼「ものづくり拠点開設補助金」の新設
- ▼オープンファクトリーへの支援

- ▼県との連携による新たな工業団地整備の推進
- ▼群馬大学理工学部学生の市内企業での就労体験奨励
- ▼「女性就労支援事業」の開始

- ▼農業6次産業化の推進

- ▼「造林事業間伐・更新伐補助金」の新設

- ▼黒保根町のリトリート推進に向けた環境整備

- ▼「桐生市重伝建地区公開活用施設」の開設

- ▼「（仮称）日本遺産・織物フェスタin桐生」の開催

- ▼子ども観光ガイド養成講座（日本遺産編）の開講

- ▼幼い頃から外国語に触れる活動の推進

- ▼群馬大学と連携した教育施策の推進

- ▼学校のいじめ対策の推進

- ▼休日部活動の段階的な地域移行の検討

- ▼「子どもがつくるまちミニきりゅう」の充実

- ▼大川美術館の施設整備支援

- ▼図書館建て替えに向けた市民意見の集約

- ▼桐生市運動公園内テニスコートの人工芝への改修

- ▼誰もが住み続けたいくなる安全・安心・便利なふるさと桐生の

- ▼「桐生市子ども家庭センタ

- ▼「」での相談支援の充実
- ▼ヤングケアラーがいる家庭への訪問支援開始

- ▼「不妊・不育症治療費助成事業」の支給対象拡大

- ▼「産後ケア事業」の利用料減免

- ▼認定子ども園への移行に向けた広沢幼稚園の改修

- ▼介護職員が受講する研修への補助の開始

- ▼桐生みやま園移転に向けた旧川内北小学校の解体

- ▼「さりゅう健康ポイント事業100点チャレンジ」の拡充

- ▼高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担額引き下げ

- ▼林野火災など早期状況把握のため災害対応ドローンの導入

- ▼消防団員の出勤報酬の新設

- ▼家庭用防犯カメラ購入補助の開始

- ▼防犯機能付き電話機や録音機の購入補助の継続

- ▼犯罪被害者などに対する見舞金制度の新設

- ▼成年年齢引き下げに伴う消費者への保護啓発

- ▼「再生資源集団回収奨励金」の単価引き上げ

- ▼赤岩線・錦琴平線整備推進

- ▼新里駅周辺の歩道整備
- ▼「桐生市地域公共交通計画」の策定
- ▼おりひめバス車両の更新

- ▼水道山公園トイレの改修
- ▼未来へはばたけ山田製作所桐生が岡動物園の動物診療所の改築

- ▼新里町赤城山のサクラソウ自生地水路柵改修

新たな価値観を皆で共有できる持続可能な未来都市への

「挑戦」

- ▼「SDGs未来都市」実現に向けた施策の推進

- ▼低速電動コミュニティバス「MAYU」を活用し、移動手段の確保と活性化を図る地域への支援

- ▼「桐生市メディアアプロモーション戦略監」からの助言を生かした効果的なメディアアプロモーションの展開

- ▼「桐生市魅力大使」を活用した効果的な魅力発信

- ▼男女共同参画の推進

- ▼多文化共生社会の実現に向けた取り組みの推進

- ▼職員の意識改革や能力向上に向けた人材育成の継続

- ▼ふるさと納税の増加に向けたポータルサイト数の拡大

- ▼や返礼品の開拓

- ▼みどり市との連携強化に向けた「第3期桐生・みどり未来創生会議」の設置

- ▼各共同事業施設の今後の在り方についてみどり市との協議の継続

“桐生の宝” 磨き上げ予算

令和6年度の当初予算をお知らせします。 問い合わせ＝財政課財政担当（☎内線 526）



【リトリート環境整備事業】

黒保根町において、公民連携による観光拠点施設などの整備



【重伝建地区公開活用施設管理事業】

重伝建地区の拠点施設の管理・運営と情報発信



【子どもがつくるまちミニきりゅう】

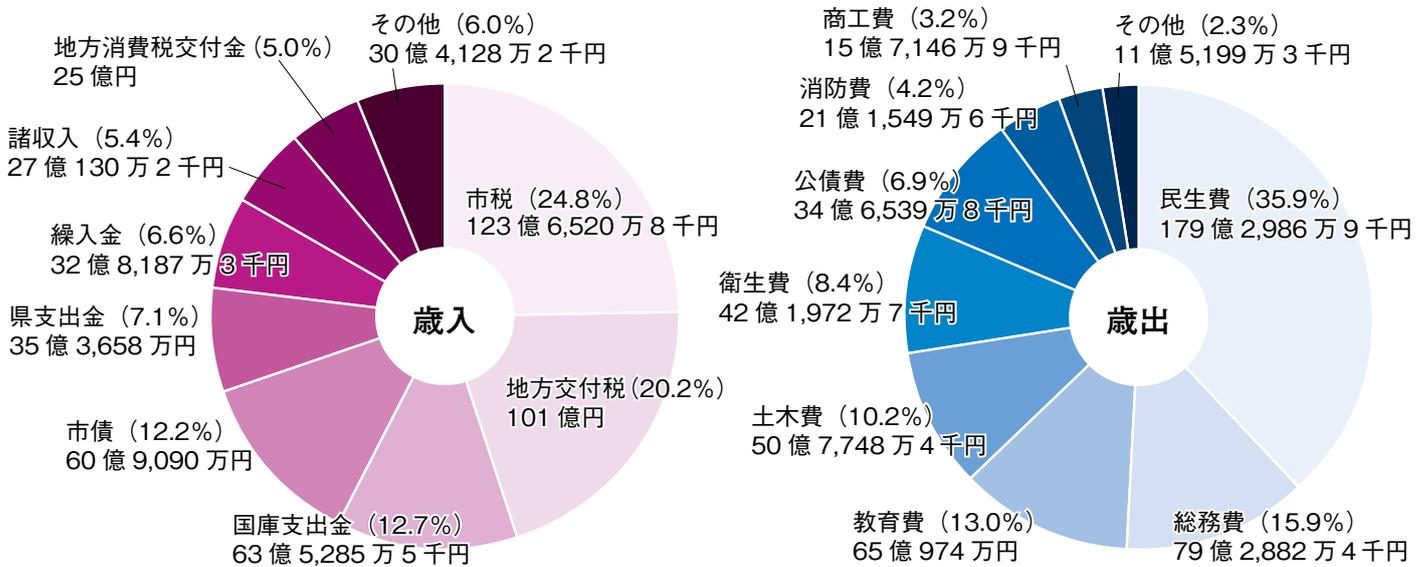
こどものまちの聖地化を目指し、他の自治体と連携・交流を図りながら実施

一般会計

499 億 7,000 万円
(前年度比 9.3 パーセントの増加)

歳入の「市税」では、定額減税の影響により、令和5年度に比べ約3億6,000万円の減少を見込んでいます。

歳出では、市役所の新本庁舎建設工事などを実施することにより、「総務費」が令和5年度に比べ約20億6,000万円の増加となりました。



特別会計

294 億 6,794 万 8 千円

※農業集落排水事業は、令和6年度から企業会計に移行しました。

会計名	予算額	前年度比
学校給食共同調理場事業	7 億 2,858 万円	- 2.1%
国民健康保険事業	121 億 9,746 万 5 千円	- 0.7%
介護保険事業	142 億 6,077 万 3 千円	- 0.2%
新里温水プール事業	3,126 万 8 千円	- 51.2%
発電事業	1 億 7,558 万 6 千円	1.9%
後期高齢者医療事業	20 億 7,427 万 6 千円	5.7%

企業会計

92 億 3,448 万 2 千円

会計名	予算額	前年度比
水道事業	37 億 6,219 万円	4.8%
下水道事業	51 億 1,830 万円	- 0.6%
農業集落排水事業	3 億 5,399 万 2 千円	皆増